

## 危機管理能力の欠如は大問題！



新型コロナウイルスが全国的に流行している中、私たち立憲民主党は2月21日、共同会派の皆さんとともに政府に対して①生命と健康を守るための検査・医療体制整備の強化②クルーズ船関連対応③予算措置の大幅な拡充④経済・雇用対策⑤情報公開・情報提供等の徹底を柱とした17項目の申し入れをしました。

しかしながら、政府の今回の新型コロナウイルスへの対応は後手後手になっています。クルーズ船乗客が下船した後のフォローアップ体制の不備、政府の対策本部の機能不全、2月25日に発表された対策基本方針での危機意識の欠如、さらにはイベント開催中止要請をめぐる迷走など、真の危機管理能力が問われています。

枝野幸男代表は2月26日の衆議院予算委員会で「全省庁で一丸となって、国が責任をもって対応するべきだ。政府には意識が足りないと言わざるを得ない。こういうところでこそ総理が強いリーダーシップを発揮すべきだ」と強く訴えました。

## 県連パーティーを延期します

立憲民主党滋賀県連では、新型コロナウイルスの感染が拡大する状況を鑑み、3月15日(日)に開催を予定していた「立憲民主党滋賀県連 2020年パーティー」を、5月30日(土)に延期することを決定しました。

また、同日に開催を予定していた「立憲民主党滋賀県連 定期大会」については、規模を縮小し、消毒などの感染対策を行った上で開催する予定です。

# 検察官の中立を危うくする法律違反

黒川弘務東京高検検事長の定年延長とその経緯をめぐっては、手続きに瑕疵があり違法である、との疑惑がふじょうしています。

これに関して森法務大臣や人事院、内閣法制局の答弁が猫の目のように変わり、辻褄を合わせるためにさらに答弁が苦しくなっています。

この状況は、森友・加計学園問題桜を見る会問題と大きな共通点があります。それは、先に安倍総理の友人・仲間を優遇するという目標・結果があり、そのことを無理矢理正当化するために官僚が言い訳を考える、という構造です。こうした法律を無視した行為は、民主主義を破壊すると言っても過言ではありません。

枝野幸男代表は「黒川検事長の任期を無理して延長させ、検事総長に充てようとしているのは、総理自ら『桜を見る会』問題に対する捜査を防ごうとするものだと思われる。このことを言われることだけでも検察の中立性を失わせるという意味でこの人事は不当だ。」と厳しく指摘しています。

パネルの写し

### 検察官勤務延長をめぐる経緯

1/31	定年延長の閣議決定
2/ 3	森法務大臣と渡辺(周)議員が質疑、 <b>解職変更について発言なし(森大臣)</b>
2/10	森法務大臣と山尾議員が質疑。 <b>昭和56年の人事院答弁を指摘(山尾議員)、解職変更について発言なし(森大臣)</b>
2/12	松尾人事院給与局長が後藤(祐)議員の質問に対し <b>「人事院としては、現在までも、特にそれについて議論はなく、同じ解釈」と答弁</b>
2/13	本会議で <b>総理が解釈を変更した旨答弁</b>
2/19	松尾局長が山尾氏の質問に対し <b>「現在という言葉の使い方が不正確だった。」等と答弁変更</b> 森大臣が内閣法制局、人事院と <b>協議した日時を1月と初めて答弁</b>
2/20	日付のない文書が理事会に提出される 松尾局長が小川(淳)議員の質問に対し <b>決裁は取っていないと答弁</b> 森法務大臣は <b>部内で必要な決裁を取っていると答弁</b>
2/21	理事会に日付を事後追加した文書が提出され <b>口頭決裁と説明</b>

出典：衆議院予算委員会及び同理事会での応答等から枝野事務所作成 2020年2月26日 衆議院予算委員会 枝野幸男

## 野党共闘をさらに深化させる

次期衆議院選挙で政権を交代するため、県内各地で野党共闘を深化させる取り組みが行われています。

2月1日には「野党連合で安倍政権を倒そう」と銘打たれた集会在米原市公民館で開催をされ、立憲民主党滋賀県連合からは田島一成代表代行が出席し、野党共闘に向けた思いと、次期衆議院選挙にむけた決意を述べました。

また、日野町などでも同様の集会在開催されるなど、県内各地で野党共闘の機運が盛り上がっています。



立憲民主党滋賀県第2区総支部

〒522-0038 彦根市西沼波町 35-1

TEL : 0749-21-1003 FAX : 0749-21-1004

e-mail : issei@pop.biwako.ne.jp HP : <http://www.tajimaissei.com/>